

水の郷工業団地 ワンポイント・プレゼン

平成31年3月現在

項 目	説 明	添付資料	基礎資料
◇生産環境の概要	<p>◇水の郷工業団地は、周辺を国定公園越後三山・清流魚野川・魚沼コシヒカリの穀倉地帯に囲まれた自然環境豊かな田園地帯に位置しています。</p> <p>◇越後三山/八海山・駒ヶ岳水系から湧き出る豊富な地下水は、水の郷へと流れ込み、水質の良さは超軟水(硬度11~20mg/l)となっており、高い評価を受けており、「水の郷」命名の根拠となっています。</p> <p>◇魚沼市では、この自然の恵みを最大限活用し、食品・健康・医療・環境といった『健康ビジネスの生産拠点』とすることを掲げ、企業誘致活動を展開しています。</p> <p>◇水の郷の周囲には、関越自動車道の小出IC・大和スマートIC及び上越新幹線の浦佐駅の2大高速網へのアクセス整備済。隣接して国道17号浦佐バイパスが直結しています。</p> <p>◇水の郷には『LNGガス供給施設』が完備されています。水の郷専用のガス供給施設として魚沼市が運営。クリーンなエネルギー対策として有効に活用いただけます。</p> <p>◇水の郷工業団地への特別高圧共同受電計画がスタートしています。 ～計画概要については、別紙資料をご覧ください。</p> <p>◇地域固有の資源である雪を利用した『雪冷熱による再生可能エネルギーの活用』にも力を入れています。</p>		
◇基本コンセプト	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>①豊富で良質な地下水 ②安定・強固な地盤 ③LNGガス供給施設</p> </div> ➔ <p style="color: red; font-weight: bold;">食品・健康・医療・環境ビジネスの生産・物流拠点</p>		
◇立地企業	<p>◇テーブルマーク(株)～魚沼水の郷工場 同社基幹工場として「冷凍うどん」及び「パックごはん」を製造。第2工場の建設が決定：平成29年3月着工、平成30年5月竣工。</p> <p>◇ホリカフーズ(株)～水の郷工場 介護食、医療食及び災害救援食のトップメーカーとして新潟県及び魚沼市の健康ビジネス業界を支えています。水の郷工場拡張計画が進行中</p> <p>◇(株)ブルボン 平成28年3月：水の郷進出基本協定締結 平成30年3月：土地売買契約契約締結 新潟県を代表する大手菓子メーカー 現在、事業計画等策定中</p> <p>◇マルコム(株) (魚沼醸造(株))～水の郷工場 平成29年06月：水の郷進出基本協定締結 平成29年12月：土地売買契約契約締結 日本を代表する味噌及び発酵食品メーカー 魚沼醸造(株)として「米麴製造工場」としてスタート。 →平成30年3月建設着手。操業開始平成31年3月。</p>		
◇第2期造成完了	<p>◇第2期事業用地/用地買収 : 完了</p> <p>◇造成工事着手～(完成) : 平成29年3月～(同年10月)</p> <p>◇分譲可能工場用地面積 : 約6.8ha</p> <p>◇分譲開始 : 平成29年10月～</p> <p>◇分譲予定価格 : 12,800円/㎡ (42,300円/坪)</p>	◎	
◇豊富な地下水	<p>◇水量：10,000 t/日 以上の地下水採取が可能</p> <p>◇水質：硬度11~20mg/lの超軟水。飲料水としての基準を大きくクリアー。</p> <p>◇連続用水試験結果：水の郷周辺は豊富な地下水が保障されています。 * 清酒『八海山』の酒づくりにも活かされています。</p>		
◇安定・強固な地盤	<p>◇越後三山を背景に広がる扇状地：八色原は河岸段丘堆積物(礫・砂)が厚く堆積。～良質な支持層が期待できる第3礫質土層(Ag3層)を構成</p> <p>◇主に転石、玉石混じり礫層で構成(200mm程度の礫)されており、非常に安定していますが、工場等の建築に当たっては、約20m程度の地盤調査が必要となります。</p> <p>◇粘土質地層が連続して存在しないため、地盤沈下の不安はありません。</p>		

項 目	説 明	添付資料	基礎資料
◇LNGガス供給	<p>◇Co2や大気汚染物質の排出量が少ないエネルギーとして期待が高まっている『LNGガス』の供給可能。(魚沼市営ガス)</p> <p>* 環境に優しく、クリーンなエネルギー供給を約束します。</p>		
◇再生可能エネルギー (雪冷熱の活用)	<p>◇地域固有の資源である『雪』を活用した雪冷熱による再生可能エネルギーの利活用を提案します。</p> <p>◇消費電力70%以上の削減効果、Co2の削減効果76%が実証されています。</p> <p>◇雪冷熱による原材料・製品等の貯蔵保管によってさまざまな化学反応が発生し、新たな付加価値が生まれてきています。(実証実験結果)</p> <p>* 市内ではさまざまな形態の雪冷熱貯蔵施設をご覧ください。</p>		
◇排水路の完備 (排水基準)	<p>◇水の郷の周囲には川幅3mの排水路が整備され、工場排水はすべて当排水路を経由し一級河川水無川に放流されます。</p> <p>◇水の郷工業団地と周辺農地は当排水路で明確に区分されています。</p> <p>* 工場からの排水は、pH5.8～8.6、BOD25、SS80。一次処理が必要</p>		
◇消雪施設の完備 (除雪対策)	<p>◇水の郷周辺の国・県道は機械除雪体制が整っており、降雪による「従業員の通勤」及び「物流ルートの確保」などの障害は起きていません。</p> <p>◇団地内の幹線道路には、消雪パイプが整備されており、24時間融雪体制が整っています。</p> <p>◇工場棟の降雪対応…落雪処理方式 (テーブルマーク社・魚沼醸造社) 地下水融雪方式 (ホリカフーズ社)</p> <p>◇駐車場等の融雪対応…豊富な地下水(水温11℃)を利用して消雪パイプを布設</p> <p>* 豊富な地下水により「雪に強い水の郷」「雪対策は万全」です。</p>		
◇上水道 下水道の完備	<p>◇従業員が使用する「生活用水」及び「下水道処理」については、それぞれ上水道、下水道施設の利用が可能です。(水の郷エリアに配管済)</p> <p>* 工場排水については、一次処理した後、河川放流となります。</p>		
◇雇用情勢	<p>◇通勤可能圏内5市町(魚沼市・南魚沼市・小千谷市・十日町市・湯沢町)の労働力人口 :104,900人 (H27年国勢調査) ⇒有効求職者数 :2,739人 (H29/10月現在:ハローワーク調査) ⇒フルタイム求職者 :1,733人 (〃) ⇒パートタイム求職者 :1,006人 (〃)</p> <p>◇『魚沼エリアから他エリアへの流失人口』と『他エリアから魚沼エリアへの流入人口』の割合は 2:1</p> <p>◇魚沼の雇用状況の特徴 (ハローワークへのヒアリングによる) ⇒働きたい人は十分いますが、事業所数が少なく他地域と比較し求人倍率が低い現状です。 ⇒魚沼エリアは給与水準が低く、良い条件を探す人が多く、雇用に流動性があります。 ⇒求職登録のうち、在職者が20%～30%を占めています。良い条件を求めて転職するケースもあります。 ⇒実態把握は難しいが、ハローワークに登録されている数に比べて、かなり多くの潜在的求職者がいます。</p> <p>* 貴社の勤務に応じて、十分な雇用確保が期待できます。</p>		

項 目	説 明	添付資料	基礎資料
◇電力供給	<p>◇普通高圧電力 水の郷周辺及び団地内には3本の普通高圧(6,600V)の電力線が配線されています。普通高圧で受電できる電力は、2,000kwまでが可能です。</p> <p>◇特別高圧電力 関越自動車道沿いに、66,000V(50,000kw)の特別高圧電線があります。現在、水の郷工業団地特別高圧共同受電計画がスタートしています。 ★特別高圧共同受電計画の詳細については、別紙資料をご覧ください。</p>	◎	
◇優遇制度	<p>◇税制優遇及び補助（新潟県、魚沼市）</p> <p>①法人事業税の課税免除(3年間)及び不均一課税(3年間) 計6年間 ②法人県民税超過課税分の不均一課税(6年間) ③不動産取得税の課税免除（過疎法:1年以内の建築着手が要件） （産立法:2年以内の建築着手が要件）</p> <p>④固定資産税 ○課税免除(1～3年目)…土地は1年以内の着手が要件 ○固定資産税相当額の補助（4～7年目)…(水の郷特例制度) ⇒用地面積2ha以上/限度額5,000万円/納税額の1/3以内</p> <p>◇建物及び設備投資（新潟県）</p> <p>①新潟県未来創造産業立地促進補助金</p> <p>◇雪冷熱に関する設備投資（国、魚沼市）</p> <p>①再生可能エネルギー事業者支援補助金（経済産業省） ・再生可能エネルギー利用設備導入補助…(補助率1/3以内) ・地方自治体との連携を受けての設備導入…(補助率2/3以内)</p> <p>②雪冷熱利活用施設導入補助金（魚沼市） ・国等の補助施設…(補助率1/2以内) ・単独補助施設…(補助率1/3以内)</p> <p>☆各制度とも対象要件/業種指定がありますので、各種申請及び制度内容の詳細については、事前に新潟県・魚沼市にお問い合わせ下さい。 ☆各制度の詳細については、別紙資料をご覧ください。</p>	◎	
◇高速道路交通網 新幹線運行情報	<p>◇上越新幹線 ⇒東京駅～浦佐駅間では、上り線(17本/日)、下り線(16本/日)共に1時間に1本が運行されています。約90分の乗車時間です。 ⇒東京駅～湯沢駅間については、上記の外に上り線(13本/日)、下り線(10本/日)が運行しています。約70分の乗車時間です。 * 湯沢駅からは、関越自動車道湯沢IC経由～大和スマートICまで車で約30分(約25km)です。</p> <p>◇関越自動車道 ⇒練馬IC～大和スマートIC間の距離は198.3km * 大和スマートICはETC専用インターチェンジ(24時間運行) 大型車(全長12mまで)通行可</p>		
◇インフラ情報 港湾情報	<p>◇本州日本海側最大の港湾 ・外貨コンテナ基地・エネルギー供給基地として重要な役割を担う ・国内～アジア主要港へのダイレクトアクセス可能</p> <p>◇災害に強い拠点づくり ・新潟県は太平洋国土軸への横断道路網が整備 ・首都圏への供給拠点であり、災害リスク軽減が可能</p> <p>◇日本列島の中央縦軸に位置(交通インフラ) 首都圏に近く、関東、関西及び東北の結節点として機能</p>		

項 目	説 明	添付資料	基礎資料
◇雪冷熱の活用	<p>◇地域固有の資源である『雪』を活用した事例（提案）</p> <p>《雪冷熱を活用した貯蔵効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①消費電力の削減（70%以上） ②Co2排出の76%削減 ③貯蔵庫内の脱臭効果及び吸塵効果 ④米等の農産物の鮮度保持及び長期保存が可能 ⑤雪冷熱低温環境～各種農産物成分の熟成効果が期待できます。 <p>《雪冷熱による施設活用事例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①原材料貯蔵施設 ②製品貯蔵施設 ③工場施設 ⇒ 「雪融水」と「地下水」の併用による工場棟の冷房 <ul style="list-style-type: none"> * 雪冷熱システムについては添付資料をご覧ください。 * 施設整備に当たっては、経済産業省及び魚沼市の支援制度があります。 <p>◇魚沼市では雪冷熱に関する第一人者である工学博士：伊藤親臣氏との間でアドバイザーを締結しています。 貴社への同氏派遣研修(提案)も可能ですのでご検討ください。</p>		